



写真：令和元年 長岡まつり民踊流し

ご挨拶

副院長 中村 裕一



4月より副院長をつとめております中村裕一です。専門は循環器内科で、心臓病を担当しています。循環器内科は救急患者が多く集中治療を要することも多いため、副院長として救急外来と高度治療部（HCU）を担当させていただいています。

HCUは今春開設された新しい部門です。救急外来・手術室・血管造影室・一般病棟と緊密に連携し、高度・集中管理を要する患者さんをお預かりしています。開設して半年たちましたが、スタッフの頑張りと皆さんの協力で立ち上がりの時期をなんとか乗り切り、順調に稼働しています。救急外来と高度治療部を円滑に連携させ、当院の医療の質をさらに高めるのが、富所病院長から与えられた私の任務であると考えています。

長岡中央総合病院には2004年に赴任し、今年で15年目になります。この間、たくさんの患者さんとお付き合いさせていただいています。先日外来で「先生、忙しくなって大変だね、からだ壊さないでね。」とねぎらいのお言葉をいただきました。「それ、こっちのセリフですよ」とおこたえしましたが、ありがたいような申し訳ないような気持ちになりました。当院は高度医療を展開する急性期病院で、救急や集中治療は油断していると心の潤いを忘れてしまいそうな領域ですが、だからこそ、ほのぼのとした心の通い合いを大切に医療を提供し続けたいと考えています。今後ともよろしく願います。

放射線治療棟完成しました！

長岡中央総合病院では、平成17年新築移転時に導入した放射線治療装置の老朽化が進んだことで、今回、新たに放射線治療棟を作り、2台の最新放射線治療装置を導入し、この9月より臨床稼働開始の運びとなりました。

今回導入された2台の放射線治療装置は「トモセラピー」と「トゥルービーム」という装置で、今後はそれぞれの特徴を生かして、幅広いニーズに応えられるように考えられています。

トモセラピーの特徴は何といっても、CTスキャナと放射線治療システムを統合した装置という事です。この独自の機能により、毎日治療前に行う患者さんの位置合わせの精度を大幅に向上させることができます。これに強度変調放射線治療 (IMRT) の手法を合わせることで、がん病巣に対して集中的に照射をすることが可能となり、患者さんの負担がさらに軽減できます。

また、ベッドを移動させながら照射を行うことで、大きな腫瘍や複数部位の腫瘍に対応することが出来ます。

一般的にトモセラピーは前立腺がんや頭頸部がんなどが得意とされています。

一方、トゥルービームの特徴は、頭頸部、体幹部、四肢に至るまで幅広い症例に対応できる汎用型治療装置の最新版で、放射線治療の信頼性が飛躍的に高まったことです。

従来ものものと比べ、位置再現性が大幅に向上したほか、定位放射線治療や強度変調放射線治療 (IMRT) などにも対応可能です。

当院放射線治療科においては、今後この2台の高精度放射線治療器を症例に合わせて使い分けながら、幅広いがん症例に対処し、地域の患者様一人ひとりに安心して高精度な放射線治療を受けていただけるよう放射線科スタッフ共に尽力して参ります。



外観



トモセラピー



トゥルービーム

受診の流れ



当院の診療内容に関する
こと、患者さまの紹介に関する
こと、医療機器のご利用に関
することなど、いつでもお問
い合わせください。

専門的な
検査や診療の
予約



記事担当

放射線科技師長 折笠 康宏

栄養科

栄養科は管理栄養士8名・調理師22名・調理助手1名計31名で日々の業務を行っています。管理栄養士業務は栄養管理と給食管理の大きく2つに分けられます。

栄養管理は各病棟担当栄養士が入院患者さん一人ひとりに必要な栄養量の算出や充足具合の評価を行い、必要に応じて食事内容の変更の提案やベッドサイドでの聞き取りを行っています。患者さんの要望を聞き少しでも食事・栄養量摂取量の改善に繋がることで治療効果の支えとなるように日々取り組んでいます。

医師の指示のもと栄養指導を行っています。栄養指導には個人指導と集団指導があります。個人指導では個々の病態に合わせた指導を行っています。集団指導は糖尿病教室をはじめ、腎セミナーや糖尿病・腎臓病それぞれ会食指導も行っており昨年度は合計145回、824名の方から参加して頂きました。

当院はNST教育認定施設の認定も受けています。NST委員会は毎月1回の委員会開催、毎週1回の回診を委員長の新国副院長を中心に活発な活動をしています。他施設向けNST専門療法士研修の受け入れも行っており、今年度は前期・後期合わせて10名の研修を行います。

調理師は大量調理マニュアルに沿って衛生管理に努め【安心・安全な食事の提供】を行っています。一般食や治療食など幅広い食事の提供を行うとともに当院で出産された方へのお祝い膳、全国厚生連病院で実施しています。また、全国厚生連統一献立にも参加しています。

これからも栄養科一同より良い食事の提供と患者さんに寄り添った栄養管理を目標に頑張りたいと思います。

記事担当：栄養科 馬場 優子



栄養科
ワンポイント
コーナー

秋の味覚を楽しみましょう ～ 果物の話 ～



食欲の秋到来。秋の味覚と言ったら皆さんは何を思い浮かべますか？

新潟県と言えば真っ先に美味しい新米でしょうか。新米以外にも秋刀魚やさつま芋、栗も秋の味覚ですが新潟県は果物の消費量が全国4位と実は果物大好き県。柿や梨、梨も和梨だけではなくル・レクチェは新潟県が誇るブランド洋梨です。

果物は豊かな色彩と芳香、多汁な果肉とさわやかな食感、酸味と甘みを有し嗜好品としての意味合いを持っていますが果物にはビタミンC・カリウム・食物繊維などたくさんの栄養素が含まれています。

ビタミンCは抵抗力を高め風邪予防に役立つほか、コラーゲンの生成を助け皮膚を健康に保つなど体の調子を整える働きがあります。カリウムは利尿作用を促し、血圧を下げる効果があります、食物繊維には便秘予防の効果が期待できます。しかし、美味しく体に良いからと言っても食べ過ぎには注意が必要。果物には果糖が含まれているため食べ過ぎると血糖値の上昇や中性脂肪の増加、体重増加にも影響があるからです。

柿なら1個、りんごや梨は半分（1/2個）、バナナは1本が適量と言われています。果物を食べる際の目安にしてください。くれぐれも食べ過ぎないように適量を心がけ秋の味覚を満喫しましょう。



病院からのお知らせ

✓ 長岡まつり 大民踊流しに参加しました

今年も長岡まつり平和祭の大民踊流しに、当院職員・看護学生、総勢200名で参加しました。今年も、長岡出身の演歌歌手・中澤卓也さんの歌声に合わせ、平和への願いを込めながら踊りました。風もなく、とても暑い日でしたが、充実した時間を過ごすことができました。参加された皆様、暑い中お疲れ様でした。



✓ リハビリ室へようこそ

今年の春頃から、リハビリテーション科の庭園に愛らしいお客様が遊びに来るようになりました。そのお客様とは… オスとメスの【キジ】です。庭園を散歩したり、かくれんぼしたり、時には「クエックエック」と鳴いたり見ているだけで微笑ましくなります。しかし夏になり、ピタッと見かけなくなりました。ひょっとして私が写真を撮る為に追いかけたから？ 私たちは、また遊びにきてくれないかと、首を長くして待っています。



✓ 第25回病院祭にお越しください!!

10月12日(土) 10:00～15:00

幼稚園児によるよさこい節、マジックパフォーマンス、ジャズライブ、楽団ベルバラ、見附市吹奏楽団など、病院では、多くの催し物をご用意しております。



✓ ながおか農業まつり

当院は、健康コーナーで参加します。皆さん、お誘い合わせの上お越しください。

今年も血圧・視力・身体計測・骨密度計、健康相談を行います。あなたの骨年齢はいくつ？

日時：10月26日(土) 9:00～16:00

場所：ハイブ長岡

